

# 三菱電機における博士人材

2023年 11月8日

開発本部長

岡 徹

# 当社における事業環境

三菱電機グループは、サステナビリティの実現に向けて注力する5つの課題領域を明確化

研究開発では、事業競争力を生み出すコア技術を強化するとともに、基盤技術の深化。さらにゲームチェンジ等将来に備えた新技術の探索・創出

## 5つの課題領域



## サステナビリティの実現に向けた取り組み

### 事業を通じた持続可能な社会への貢献

エネルギーマネジメントやヒートポンプ技術等による社会の脱炭素化  
 保守・運用やリサイクル分野の技術革新を通じた循環型社会の構築  
 インフラ維持管理や設備自動化等によるレジリエントな社会の構築  
 人流データ・パーソナルデータの活用高度化による、あらゆる人のいきいきとした生活の実現

社会の取り組み進展による当社への好影響

サステナビリティの実現

社内の取り組みをビジネスに展開

### 持続可能な社会への責任

温室効果ガス削減に向けた取り組み強化  
 ●2050年度: バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量 実質ゼロを目指す  
 ●2030年度: 工場・オフィスからの温室効果ガス排出量 実質ゼロを目指す  
 国際的な規範に則った人権の尊重  
 多様・多才な人財が集い、活躍する職場環境の実現  
 コンプライアンスの徹底

# 社会価値と経済価値の両立

「事業を通じた社会課題の解決」という原点に立ち、企業が持つ資源を活用して、社会的価値と経済的価値を創出

複雑で多様化する社会課題の解決に向けて、これまでの個別の技術開発テーマに基づく共同研究だけではなく、組織間の議論により包括的なテーマ設定を行う組織連携や大学連携の強化が必要



<https://melut-fdc.t.u-tokyo.ac.jp/research/>

2023/10/5 社会連携講座開設

三菱電機と東京工業大学が「三菱電機エネルギー&カーボンマネジメント協働研究拠点」を設置



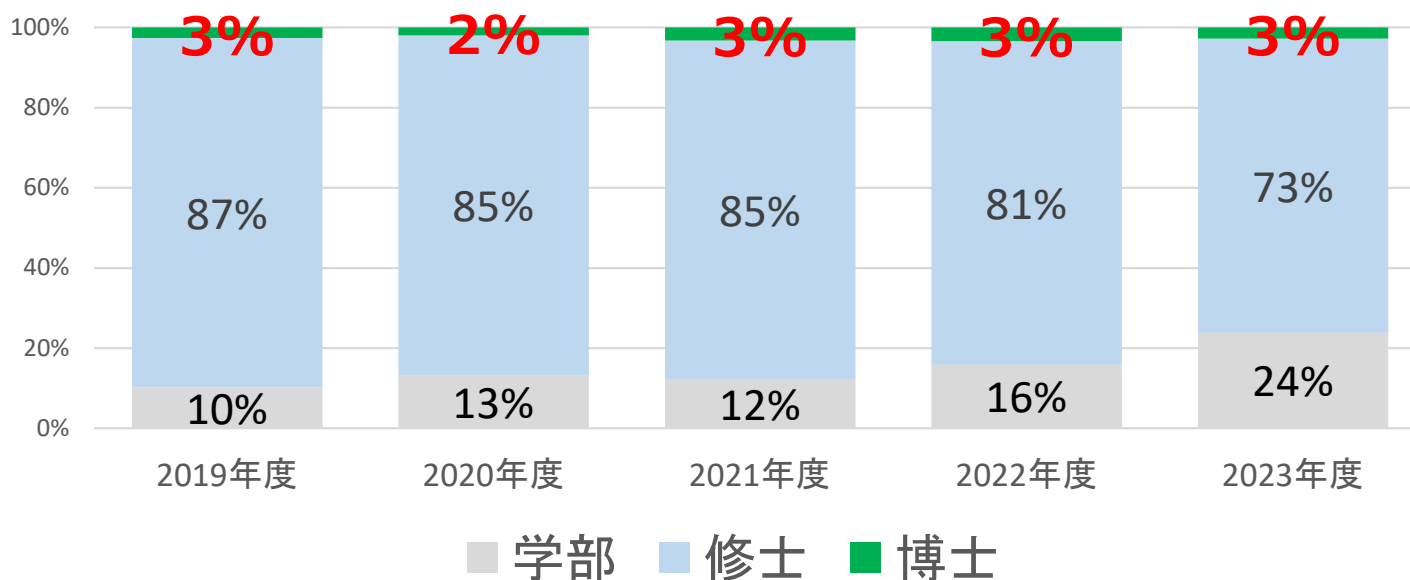
2023/4/14 協働研究拠点設置

<https://www.titech.ac.jp/news/2023/066293/>

## 当社における博士人材活用の状況

- 新卒採用における博士人材の割合は概ね一定
- 博士人材は高度な専門性を活かし、課題設定やデータ分析の場面で活躍
- 従来製品のコモディティ化、技術革新のスピード、地政学リスクなど、課題は多様化。新たな価値観やビジネスモデルに繋がる研究開発テーマの探索や創出を博士人材に期待
- 博士人材の専門性と当社ニーズをマッチングさせることが重要

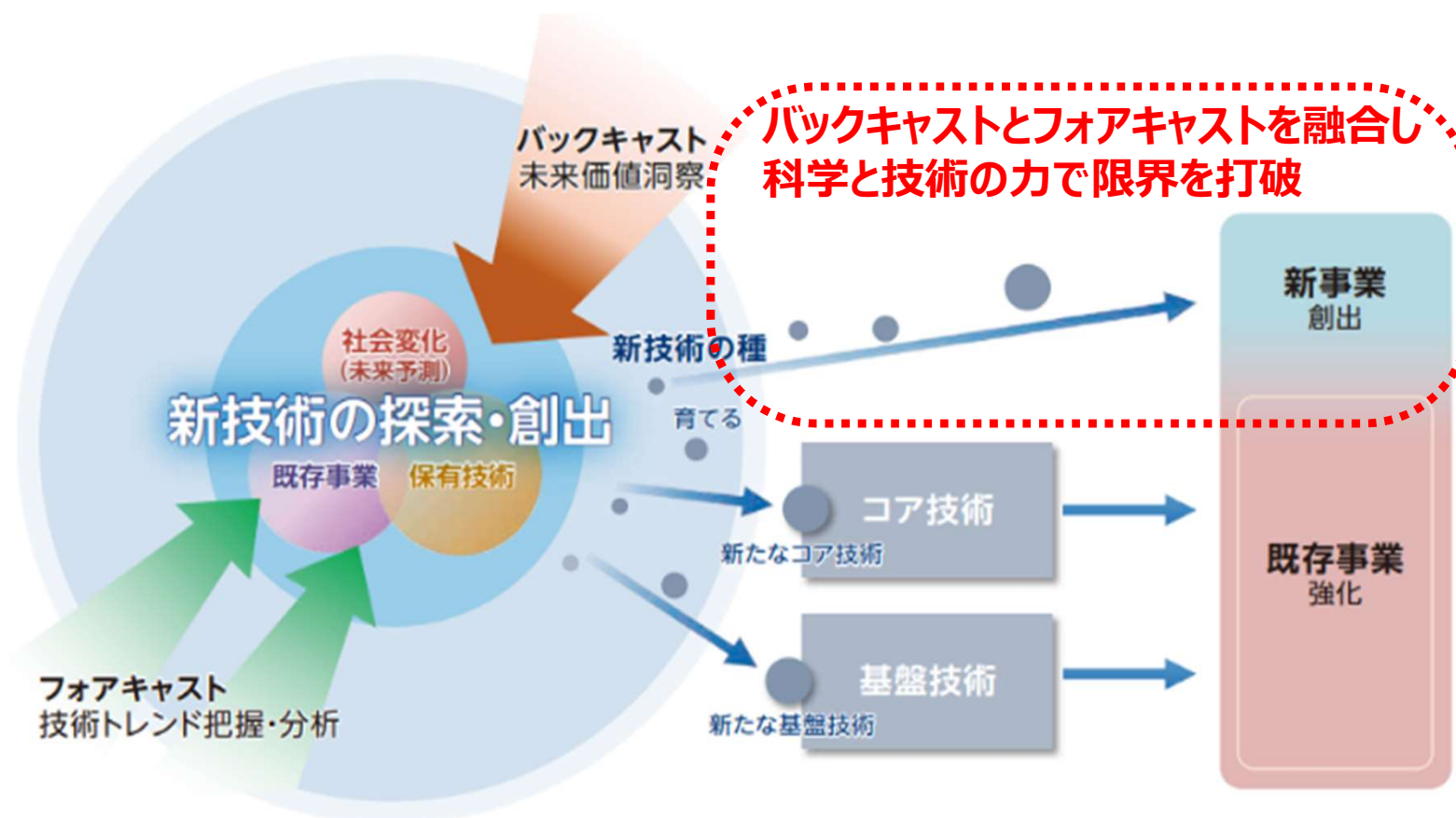
技術系新卒採用 比率推移



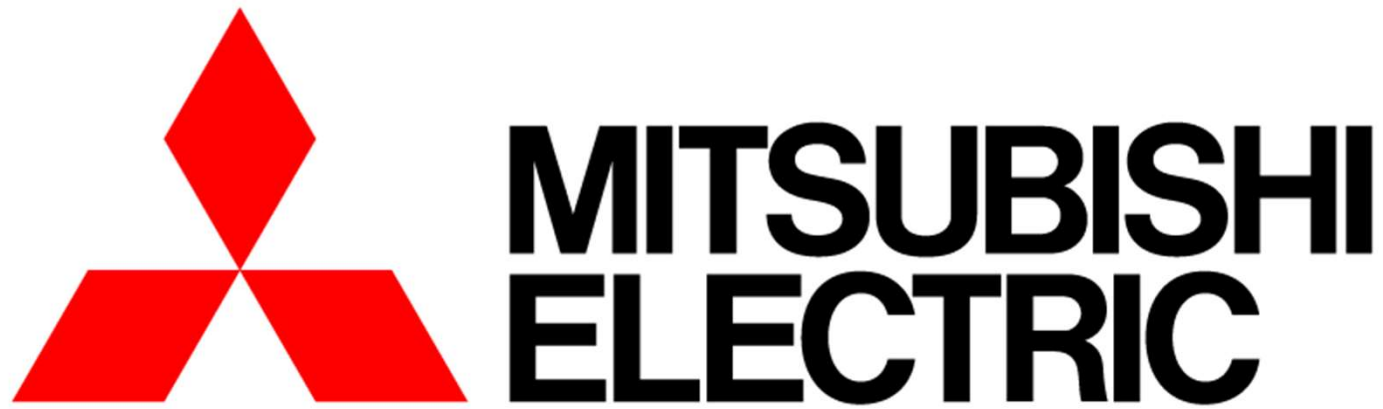
# 当社が求める人材

本質的な課題を洞察して、具体化できる人材

課題の本質を見抜くためには、高度な専門性と、自然科学や人文科学などの広範な知識と素養が必要



■ 新技术の探索・創出



*Changes for the Better*